

エコアクション21 環境活動レポート

レポート対象期間：平成31年4月～令和2年3月

＜エコアクション21ガイドライン2009年版対応＞



令和2年4月6日発行



株式会社 縣北衛生社

作成日 令和2年4月6日

作成者 山川 和也

目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲(認証・登録範囲)
3. 環境方針
4. 環境目標
5. 環境活動契約
6. 環境目標の実績
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに
違反訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

事業者名 株式会社 縣北衛生社
代表者 代表取締役 外間 広志
所在地 長崎県佐世保市干尽町3番地47

環境管理責任者 営業部長 山川 和也
連絡先 TEL 0956-31-4277
E-mail eigyo-x@apesion.com

担当者 山川 和也 / 中田 将之
連絡先 TEL 0956-31-4277
E-mail eigyo-x@apesion.com

法人設立年月日 昭和39年10月28日

資本金 4,800万円

事業活動 一般廃棄物収集運搬・中間処理
産業廃棄物収集運搬
特別管理産業廃棄物収集運搬
浄化槽点検・清掃
し尿汲み取り

各事業所一覧

事業所名	所在地	従業員数	敷地面積、床面積
本社	長崎県佐世保市干尽町3番地47	9名	2212㎡、287㎡
大塔事業場	長崎県佐世保市大塔町1306番10	60名	4776㎡、392㎡
宮リサイクルプラント	長崎県佐世保市宮津町646	14名	72436㎡、2318㎡
島原リサイクルプラント	長崎県島原市西町丙1397番地1	14名	7092㎡、1060㎡

事業の規模

活動規模	単位	平成30年度	平成31年度
収集運搬量	t	54,296	52,043
中間処理量	t	6,300	5,844
再資源化量	t	6,300	5,844
売上高	百万円	1,287	1,305
従業員	人	78	97
床面積	m ²	135,730	135,730

事業年度:4～翌3月

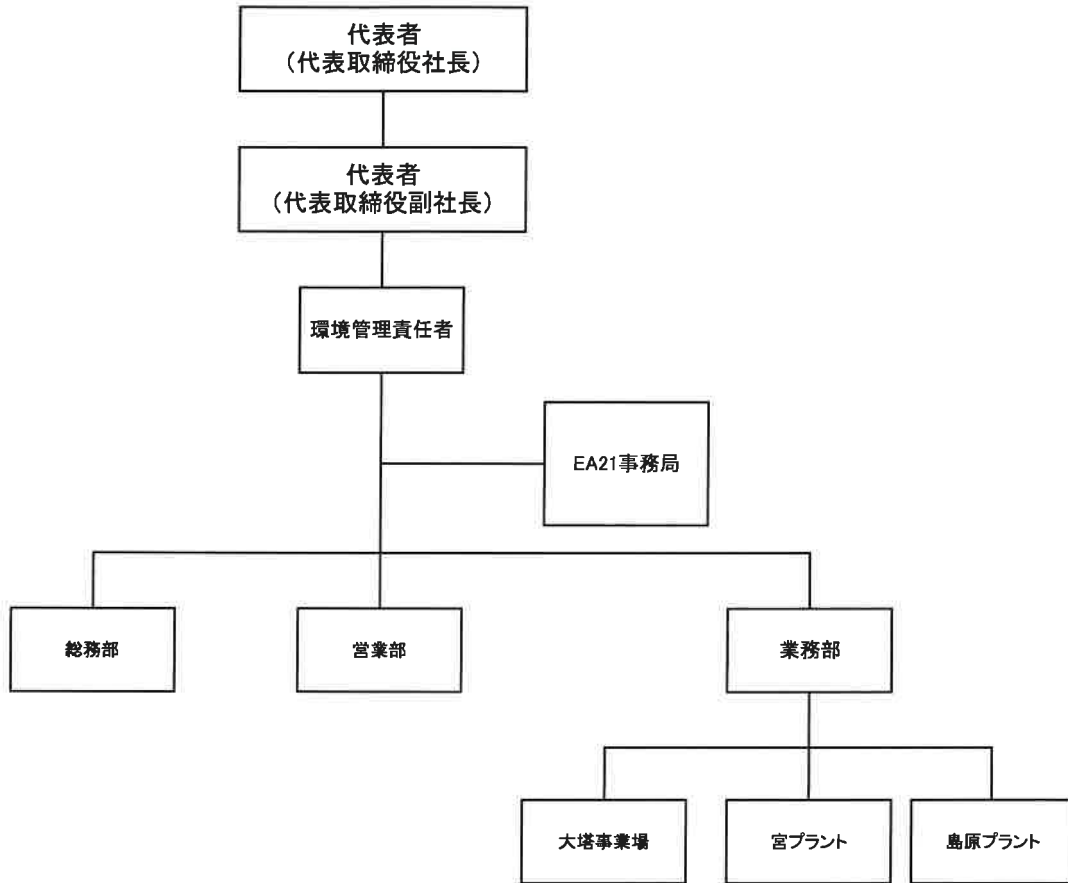
※ただし、決算月に兼ね合いでH31年度の売上高に関してはH31.11～R2.10までの実績とする。
(H30年度の売上高に関しても、上記同様H30.11～H31.10までの実績)

事業の規模

活動規模	単位	平成30年度	平成31年度
収集運搬量	t	54,296	52,043
中間処理量	t	6,300	5,844
再資源化量	t	6,300	5,844
売上高	百万円	1,287	1,305
従業員	人	78	97
床面積	m ²	135,730	135,730

事業年度:4~翌3月

EA21 組織図



許可の内容

一般廃棄物許可関連一覧

	自治体名称	許可証名	許可年月日及び有効期限	許可番号	事業の範囲	取り扱う廃棄物の種類
1	佐世保市	一般廃棄物処分業許可証	R1.12.1 R3.11.30	佐世保市指令25廃指第65号	中間処理(選別・圧縮)	一般廃棄物
2		一般廃棄物収集運搬業許可証	H30.4.1 R2.3.31	佐世保市指令26廃指第72号	収集運搬	ごみ、し尿及び浄化槽に係る汚泥
3		一般廃棄物処理施設設置許可証	H9.3.17	80-0-420-001	中間処理(選別・破碎・圧縮)	一般廃棄物
4	佐々町	一般廃棄物収集運搬業許可証	H30.7.14 R1.7.13	8101000005	収集運搬	一般廃棄物
5	島原市	一般廃棄物収集運搬業許可証	H30.4.1 R2.3.31	島原市許可2003	収集運搬	一般廃棄物
6		一般廃棄物処理施設設置許可証	H5.3.5	42-3-1	中間処理(資源化)	一般廃棄物
7	南島原市	一般廃棄物収集運搬業許可証	H30.3.28 R2.3.27	南島原市指令25南環第243号	収集運搬	一般廃棄物
8	佐世保市	浄化槽清掃業許可証	R2.4.1 R4.3.31	佐世保市指令26環保第397号	浄化槽清掃	浄化槽汚泥
9		浄化槽保守点検業者登録書	H31.4.1 R4.3.31	24環保第1-32号	浄化槽保守点検	
10	長崎県	浄化槽保守点検業者登録書	H31.4.1 R4.3.31	長崎県知事第7号	浄化槽保守点検	

一般廃棄物処理施設

処理施設の種類及び処理方法	廃棄物の種類	処理能力
選別・破碎・圧縮(一般廃棄物)	ごみ(ビン・缶・ペットボトル)	80t/日(40t/日×2基)
資源化施設(一般廃棄物)	不燃物(資源物)、鉄類、非鉄金属類、ガラスカレット類	40t/日(8時間)

一般廃棄物積替保管施設

所在地	面積	積替え保管を行う廃棄物の種類	積替えの為の保管上限	備考
長崎県佐世保市大塔町1306番5	12.9㎡	し尿	10.6㎡	車両内保管
	12.9㎡	浄化槽に係る汚泥	10.6㎡	車両内保管
	86.27㎡	ごみ(可燃・不燃)	101.37㎡	車両内保管
	17.84㎡	粗大ごみ	21.15㎡	車両内保管
	22.02㎡	資源物	26.47㎡	車両内保管
長崎県佐世保市宮津町646番地1	133.82㎡	ごみ(可燃)	171.08㎡	積上上限高2m

産業廃棄物許可一覧

産業廃棄物収集運搬業			許可項目														備考							
都道府県及び政令都市	積替保管		許可番号及び許可の年月日 有効年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	繊維くず	紙くず	木くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	感染性廃棄物	積替保管施設の所在地及び面積、許可の条件
	有	無																						
佐世保市 (優良)	●		08011005214 平成28年11月13日 令和5年11月12日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(長崎県佐世保市長畑町1028番1) ①汚泥 35.1㎡ ②廃油 25.12㎡ ③廃酸 0.84㎡ ④廃アルカリ 0.84㎡ (長崎県佐世保市宮津町646番) ①廃プラスチック類 8.76㎡ ②金属くず 8.75㎡ ③ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 8.75㎡ (長崎県佐世保市大塔町1306番10) ①廃プラスチック類 32.4㎡ ②金属くず 10.8㎡ ③ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 10.8㎡
長崎県 (優良)	●		04210005214 平成30年3月15日 令和7年3月14日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	長崎県島原市西町丙1397番地1 ①廃プラスチック類 7.52㎡・28㎡ ②ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 7.52㎡・12.92㎡
福岡県 (優良)		●	04000005214 平成30年12月26日 令和7年12月25日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
佐賀県 (優良)		●	04106005214 平成27年3月24日 令和2年3月23日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大分県		●	04407005214 平成29年11月20日 令和4年11月19日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
長野県		●	2009005214 平成30年8月19日 令和5年8月18日	●	●			●								●	●					●		
特別管理産業廃棄物収集運搬業																								
佐世保市 (優良)	●		08061005214 平成30年8月24日 令和7年8月23日																				●	長崎県佐世保市宮津町646番地1 感染性廃棄物 7.2㎡
長崎県 (優良)	●		04260005214 平成28年1月22日 令和5年1月21日																				●	長崎県島原市西町丙1397番地1 感染性廃棄物 5.95㎡
佐賀県 (優良)		●	04151005214 平成30年7月29日 令和7年7月28日																				●	
産業廃棄物処分業																								処理内容及び処理能力
佐世保市 (優良)		●	08021005214 平成28年11月13日 令和5年11月12日					●																中間処理:溶融減容 処理能力:104㎡/日(8時間) 13㎡/時

* 電子マニフェスト...加入者番号2020324 平成25年4月19日加入 収集運搬業者(区分)

産業廃棄物積替保管施設

所在地	面積	積替え保管を行う廃棄物の種類	積替えのための保管上限	備考
長崎県佐世保市長畑町1028番1	35.1㎡	汚泥	20.0㎡	屋内(容器保管)
	25.12㎡	廃油	7.2㎡	
	0.84㎡	廃酸	0.18㎡	
	0.84㎡	廃アルカリ	0.18㎡	
※石綿含有産業廃棄物を含み、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く				
長崎県佐世保市宮津町646番地	8.76㎡	廃プラスチック類	17.7㎡	屋内(容器保管)
	4.375㎡	金属くず	7.2㎡	
	4.375㎡	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	7.2㎡	
	8.75㎡	水銀使用製品産業廃棄物	14.4㎡	
※石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を除く				
長崎県佐世保市大塔町1306番10	32.4㎡	廃プラスチック類	23.36㎡	屋外(容器保管)
	10.8㎡	金属くず	8.2㎡	
	10.8㎡	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	8.2㎡	
※石綿含有産業廃棄物を含み、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く				
長崎県島原市西町丙1397番地1	7.52㎡	廃プラスチック類	13.5㎡	屋内(容器保管)
	28㎡		32㎡	屋外(容器保管) 積上上限高 2.0m
	7.52㎡	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	13.5㎡	屋内(容器保管)
	12.92㎡		4.2㎡	屋外(容器保管) 積上上限高 0.58m
※石綿含有産業廃棄物を含み、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く				

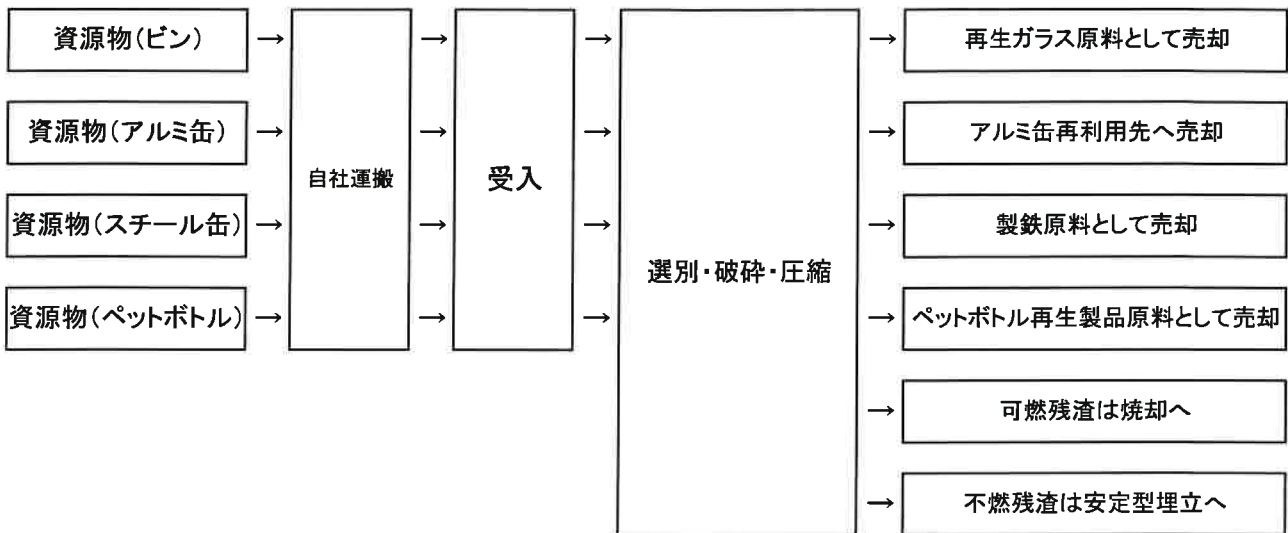
特別管理産業廃棄物積替保管施設

所在地	面積	積替え保管を行う廃棄物の種類	積替えのための保管上限	備考
長崎県佐世保市宮津町646番地1	7.2㎡	感染性廃棄物	7.0㎡	屋内保管(冷蔵設備内)
長崎県島原市西町丙1397番地1	5.95㎡	感染性廃棄物	13.09㎡	屋内保管(冷蔵設備内) 積上上限高 2.2m

●処理工程図

◎宮リサイクルプラント処理工程

<一般廃棄物>

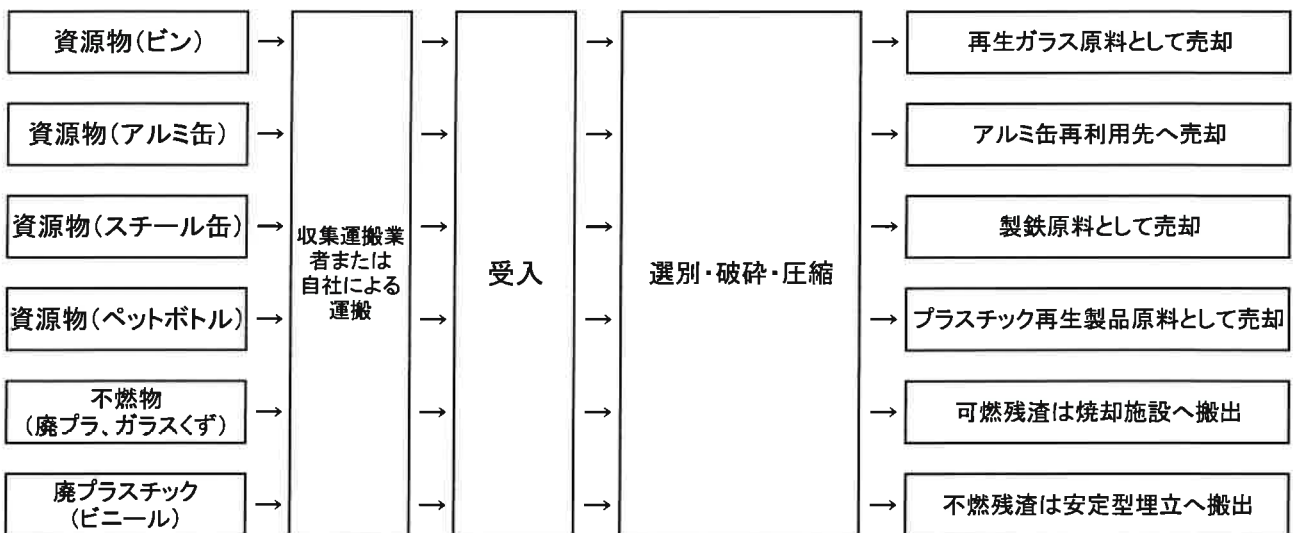


<産業廃棄物>



◎島原リサイクルプラント処理工程

<一般廃棄物>



●受託した一般廃棄物の処理量

平成31年4月～令和2年3月

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i) 収集運搬		可燃物		7,915.42
		し尿浄化槽汚泥		39,529.17
		不燃物		283.89
		資源物		3,458.30
		古紙類		856.24
		蛍光灯		0.00
		乾電池		0.00
収集運搬量合計				52,043.02
(ii) 中間処理		ビン・缶・ペットボトル混合	選別・圧縮	3,148.00
		ガラスカレット	選別・圧縮	1,677.00
		ガラスカレット・ペットボトル混合	選別・圧縮	360.00
		缶	選別・圧縮	268.00
		ペットボトル	選別・圧縮	168.00
		廃プラ(容器包装)	選別	223.00
		再資源化等量小計		
	うち 再資源化等	ビン・缶・ペットボトル混合	選別・圧縮	3,148.00
		ガラスカレット	選別・圧縮	1,677.00
		ガラスカレット・ペットボトル混合	選別・圧縮	360.00
		缶	選別・圧縮	268.00
		ペットボトル	選別・圧縮	168.00
		廃プラ(容器包装)	選別	223.00
		再資源化等量小計		
中間処理合計				5,844.00
(iii) 最終処分				
最終処分量合計				0
(IV) 中間処理 後の一般 廃棄物	最終処分	可燃物	焼却(委託)	206.00
		不燃物	安定型最終処分場(委託)	1,338.00
	再資源化等	缶	原料として再利用(売却)	386.00
		ペットボトル	再生利用(売却)	405.00
		ガラスカレット	再生利用(売却)	2,551.00
		廃プラスチック	再生利用(売却)	204.00
		金属くず	再生利用(売却)	794.00
	再資源化等量小計			4,340.00
中間処理後処分量合計				5,884.00

●受託した産業廃棄物の処理量

平成31年4月～令和2年3月

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)	
(i) 収集運搬	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		55.71	
	がれき類		11.70	
	ゴムくず		0.00	
	混合廃棄物*		94.89	
	汚泥		503.65	
	金属くず		24.26	
	紙くず		0.00	
	繊維くず		0.00	
	動植物性残さ		118.36	
	動物のふん尿		0.00	
	燃え殻		0.00	
	廃油		3.18	
	木くず		10.74	
	廃プラスチック類		1067.53	
	廃酸		5.09	
	廃アルカリ		9.69	
感染性廃棄物	210.51			
収集運搬量合計			2115.3	
(ii) 中間処理	廃プラスチック類	溶融減容	0	
うち 再資源化等	廃プラスチック類	溶融減容	0	
再資源化等量小計			0	
中間処理合計			0	
(iii) 最終処分				
最終処分量合計			0	
(iv) 中間処理後の産業廃棄物	最終処分			
	再資源化等	廃プラスチック類	溶融減容(原料として売却)	0
再資源化等量小計			0	
中間処理後処分量合計			0	

●所有車両台数

車両の種類	トン数	台数
バキューム車	2t	3
	3t	9
	4t	11
	7t	1
	10t	3
パッカー車	2t	4
	4t	18
	6t	1
キャブ	2t	2
	3.5t	1
クラム車	6t	3
軽バン		1
ダンプ	2t	4
	4t	1
	10t	4
医療収集車	2t	1
	3t	1
フックロール	4t	2
浄化槽点検車		3
営業車(本社社用車含む)		12
合計		85

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

認証・登録の対象とする組織

当社は、全組織を認証・登録範囲としています。

事業所名	所在地	従業員数	敷地面積、床面積
本社	長崎県佐世保市干尽町3番地47	9名	2212㎡、287㎡
大塔事業場	長崎県佐世保市大塔町1306番10	60名	4776㎡、392㎡
宮リサイクルプラント	長崎県佐世保市宮津町646	14名	72436㎡、2318㎡
島原リサイクルプラント	長崎県島原市西町丙1397番地1	14名	7092㎡、1060㎡

3. 環境方針

株式会社縣北衛生社は、長崎県を拠点に地域密着型企业として、『地域社会への貢献と共生』を重要な行動規範と認識する。

また、小型浄化槽の清掃、廃棄物処理のプロ集団として、関連技術の研鑽に努めると共に、環境保全事業者としての社会的責任を十分に認識し、全従業員の参加により『循環型社会の実現』を図るため下記の活動を推進する。

1. 当社の事業活動、サービスを通じて省エネルギー、省資源、リサイクル活動等を行い、自ら掲げた数値目標を設定し、継続的な環境管理に取り組む。
2. 当社の環境に関する活動は、以下の項目について重点的に取り組む。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減(電力、車両燃料の使用量削減)
 - (2) 廃棄物排出量の削減(分別、排出量の削減の推進)
 - (3) 水使用量の削減
 - (4) グリーン購入の推進
 - (5) 受託した廃棄物の収集運搬における環境配慮(燃費の向上)
3. 環境関連の法規制、その他当社が受入れを決めた要求事項を順守する。

制定日：平成 26 年 10 月 31 日

株式会社 縣北衛生社
代表取締役 外間 広志

4.環境目標

●環境への負荷の状況(取りまとめ表)

環境への負荷		単位	平成31年4月～令和2年3月	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	828,704	
	()	kg-CO ₂		
②-1 受託した一般廃棄物の処理量	収集運搬量	t	52,043	
	中間処理用	t	5,844	
	うち再資源化等量	t	5,844	
	最終処分量	t	0	
	中間処理後の廃棄物の処分量	t	5,884	
	中間処理後の廃棄物の再資源化等量	t	4,340	
②-2 受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	2,115	
	中間処理用	t	0	
	うち再資源化等量	t	0	
	最終処分量	t	0	
	中間処理後の産廃の処分量	t	0	
	中間処理後の産廃の再資源化等量	t	0	
③ 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	焼却・埋立	t	1.36
		リサイクル	t	0.99
		最終処分量	t	0
	産業廃棄物	焼却	t	0.06
		リサイクル	t	0
		最終処分量	t	0
④-1 総排水量	公共用水域	m ³	1,101	
	下水道	m ³	117	
④-2 水使用量	上水	m ³	1,179	
	井戸水	m ³	175	
	地下水	m ³	0	
⑤ 化学物質使用量	取り扱いなし	kg	0	
		kg	0	
		kg	0	
⑥ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	211,196	
	化石燃料	MJ	10,185,417	
	新エネルギー	MJ	0	
	その他	MJ	0	
⑦ 物質使用量	資源使用量	t	1,584	
	循環資源使用量	t	0	
⑧ サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質量	t	0	
	水の利用量	m ³	0	

当社の環境目標を以下の表に示します。

●環境目標

環境目標	単位	部門	環境目標 基準値	環境目標			実施項目
				平成29年度	平成30年度	平成31年度	
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	全社	1,015,296	1,005,143 (-1%)	994,925 (-2%)	984,837 (-3%)	-
電力使用量削減	kWh	全社	250,793	248,285 (-1%)	245,777 (-2%)	243,269 (-3%)	・冷房は28℃、暖房は20℃ ・不要な照明は消す ・節電シールの使用
ガソリン使用量削減	L	全社	10,061	9,960 (-1%)	9,859 (-2%)	9,759 (-3%)	・アイドリングストップ。 ・急発進、急停止しない。 ・冷房は28℃から ・経済速度での走行
軽油使用量削減	L	全社	325,494	322,239 (-1%)	318,984 (-2%)	315,729 (-3%)	・上記の事項プラス、 不要な荷物を積んだままにしない。 ・燃料使用量記録
②廃棄物排出量の削減	当社が排出する一般廃棄物の削減	t	2.8	2.77 (-1%)	2.74 (-2%)	2.72 (-3%)	・廃棄物排出量の記録 ・分別廃棄 ・マニフェスト票の管理 ・修理して再使用
	当社が排出する産業廃棄物の削減	t	0.53	0.525 (-1%)	0.519 (-2%)	0.514 (3%)	
③水使用量の削減	m ³	全社	1,836	1,817 (-1%)	1,799 (-2%)	1,780 (-3%)	・節水シールの使用
④グリーン購入の推進	品目数	全社	30	32 (+2)	34 (+4)	36 (+6)	・グリーン購入品アイテム数の把握
⑤収集運搬車両の燃費向上	L/t(受託量)	全社	5.38	5.33 (-1%)	5.27 (-2%)	5.22x (-3%)	・ルート効率を見直す ・過積載に気を付ける
⑥地域ボランティア活動の実施	回数	全社	2	2	2	2	・会社周辺の草刈り、 清掃を年2回実施

目標値についての説明

- 1 目標の基準値には、2016年度の実績値を使用している(福利厚生施設稼働の為、項目によっては増量にて算出)
- 2 グリーン購入目標はアイテム数を目標値としている。
- 3 二酸化炭素の排出係数は九州電力の平成25年度分(0.613kg-CO2/kWh)を使用している。
- 4 収集運搬業では収集運搬車両の燃費向上を目標とする。

5. 環境活動計画

当社の環境活動計画を以下の表に示します。

●環境活動計画

環境目標	実施事項	実施部門及び責任者	実施計画														
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1. 二酸化炭素排出量の削減																	
①電気使用量の削減	・空調温度管理 (夏:28℃、冬:20℃)	全社 各部門長				←→					←→						
	・未使用時の消灯	全社 各部門長	←→														
	・昼休みの消灯	全社 各部門長	←→														
	・スイッチに節電シールを貼る	全社 各部門長	←→														
	②車両燃料の使用量削減	・アイドリングストップ	全社 各部門長	←→													
		・クーラーは28℃から使用	全社 各部門長				←→										
		・急発進、急停車の禁止	全社 各部門長	←→													
		・不要な荷物は積まない	全社 各部門長	←→													
		・段取り不足での荷物の積み忘れなし	全社 各部門長	←→													
		・走行距離、燃料使用量の管理	全社 各部門長	←→													
2. 廃棄物排出量の削減	・廃棄物の分別徹底	全社 各部門長	←→														
	・産業廃棄物の manifests での管理	全社 各部門長	←→														
	・廃棄物排出量の把握	全社 各部門長	←→														
3. 水使用量の削減	・節水シールの使用	全社 各部門長	←→														
4. グリーン購入の推進	・グリーン購入品目数の把握	全社 各部門長	←→														
5. 収集運搬車両の燃費向上	・ルートの見直し	全社 各部門長	←→														
	・過積載に気を付ける	全社 各部門長	←→														
6. 地域ボランティア活動の実施	・会社周辺のごみ拾い、草刈を実施	全社 各部門長					←→				←→						

6. 環境目標の実績

●環境目標に対する実績と達成状況

環境目標	単位	平成31年度 目標値	平成31年度 実績	達成率	評価	
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	984,837	828,704	118.8%	○	
電力使用量削減	kWh	243,269	211,196	115.2%	○	
ガソリン使用量削減	L	9,759	8,287	117.8%	○	
軽油使用量削減	L	315,729	259,071	121.9%	○	
②廃棄物 排出量の削減	当社が排出する 一般廃棄物の削減※	t	2.72	2.35	115.7%	○
	当社が排出する 産業廃棄物の削減	t	0.514	0.06	856.7%	○
③水使用量の削減	m ³	1,780	1,354.0	131.5%	○	
④グリーン購入の推進	品目数	36	39	108.3%	○	
⑤収集運搬車両の燃費向上	L/t (受託量)	5.22	4.78	109.2%	○	
⑥地域ボランティア活動の実施	回数	2	2	100.0%	○	

目標値についての説明

- 1 目標の基準値には、2016年度の実績値(3ヶ月分)を使用している。
- 2 グリーン購入目標はアイテム数を目標値としている。
- 3 二酸化炭素の排出係数は九州電力の平成25年度分(0.613kg-CO₂/kWh)を使用している。
- 4 収集運搬業では収集運搬車両の燃費向上を目標とする。
- 5 評価について ○:100%以上 △:99%~70% ×:70%未満

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取り組み内容

環境目標	実施事項	実施部門及び責任者	評価期間				評価及び次年度の取組内容
			第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期	
1. 二酸化炭素排出量の削減							
①電気使用量の削減	・空調温度管理 (夏:28℃、冬:20℃)	全社 各部門長	-	△	-	△	現状の活動をさらに推進する。
	・未使用時の消灯	全社 各部門長	○	○	○	○	
	・昼休みの消灯	全社 各部門長	△	△	△	△	
②車両燃料の使用量削減	・スイッチに節電シールを貼る	全社 各部門長	○	○	○	○	現状の活動をさらに推進する。
	・アイドリングストップ	全社 各部門長	○	○	○	○	
	・クーラーは28℃から使用	全社 各部門長	-	△	-	-	
	・急発進、急停車の禁止	全社 各部門長	○	○	○	○	
	・不要な荷物は積まない	全社 各部門長	○	○	○	○	
	・段取り不足での荷物の積み忘れなし	業務部 各部門長	○	○	○	○	
2. 廃棄物排出量の削減	・走行距離、燃料使用量の管理	全社 各部門長	○	○	○	○	廃棄物の分別の徹底でリサイクル率を増加させる
	・廃棄物の分別徹底	全社 各部門長	○	○	○	○	
	・産業廃棄物のマニフェスト票での管理	全社 各部門長	○	○	○	○	
3. 水使用量の削減	・廃棄物排出量の把握	全社 各部門長	○	○	○	○	現状の活動をさらに推進する。
	・節水シールの使用	全社 各部門長	○	○	○	○	
4. グリーン購入の推進	・種類別使用量の把握	全社 各部門長	△	△	△	△	現状の活動をさらに推進する。
5. 収集運搬車両の燃費向上	・ルートの見直し	業務部 各部門長	○	○	○	○	現状の活動をさらに推進する。
	・過積載に気を付ける	業務部 各部門長	○	○	○	○	
6. 地域ボランティア活動の実施	・会社周辺のごみ拾い、草刈を実施	全社 各部門長	△	○	○	△	全事業所で現状の活動をさらに推進する。

評価についての説明

○:対象となる全部門で実施した △:一部部門で実施した ×:対象となる全部門で実施できず

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

関連法令について、過去1年間、関係機関等からの指導、指摘はありませんでした。
また、違反訴訟等も同様に1件もありませんでした。
関連法令は弊社でも適用がないかチェックを行い、問題ない事を確認しました。
今後も弊社の事業活動に該当する法令・条例の遵守につとめます。

●環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法名称	法令違反の有無
廃棄物の処理および清掃に関する法律	無
フロン排出抑制法	無
下水道法	無
浄化槽法	無
家電リサイクル法	無
自動車リサイクル法	無
オフロード法	無
消防法	無
道路交通法	無
道路法	無

●違反訴訟の有無・・・無

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

平成26年度11月よりエコアクション21の取組をスタートさせて5年、日々エコアクションの取り組みを実施しましたが、本年度も二酸化炭素排出量、廃棄物の排出量、水使用量と目標に対して削減を達成することができました。
また、本年度は佐賀県の特別管理産業廃棄物の優良認定も取得することが出来ました。更に廃棄物のプロ集団として、より一層環境に配慮した業務体制を整えるように努めてください。今後も現状の取り組みを継続していくことに努め、決して特定の人だけが取り組みを行うということがないように教育を行ってください。

令和2年4月6日
株式会社 縣北衛生社
代表取締役 外間 広志